

安全性評価研究会
第22回 春のセミナー
新規モダリティの安全性分野での取り組み



2019年4月20日(土)

9時50分～20時00分 (9時30分受付開始)

大阪国際がんセンター 1階 大講堂

大阪市中央区大手前3-1-69

地下鉄「谷町四丁目駅」北改札口から徒歩約5分

プログラム変更が生じる可能性のあることを予めご了承ください

●再生医療の安全性評価

再生細胞医療における安全性評価(仮)

足立 秀樹 先生(大日本住友製薬)

In vivo 造腫瘍性試験について(仮)

田中 直子先生(テルモ、FIRM CoNCEPT)

●核酸医薬品の非臨床安全性評価

核酸医薬品の非臨床安全性評価に関する話題

木下 潔 先生(MSD製薬)

核酸医薬品における毒性試験

松下 聡紀 先生(新日本科学)

核酸医薬開発とヒト肝細胞キメラマウス

—これまでの実績・現在の取り組み・今後の課題—

加国 雅和 先生(フェニックスバイオ)

毒性質問箱「核酸医薬」(編集企画委員会)

●新規手法の活用

医薬分野におけるAIの活用例

橋爪 康知 先生(木村情報技術)

患者検体の先進的利活用による医療の開発と検証

田原 秀晃 先生(大阪国際がんセンター)

ランチョンセミナー(エルゼビア・ジャパン)

イブニングセッション

※大阪国際がんセンターの見学会を企画しています(希望者30名まで)。



参加費 会員：8,000円、非会員：10,000円

参加申し込み・お問い合わせは当会事務局 (tanigaku@3sjapan.co.jp)

までお願いします。参加申し込みは4月12日(金)までお願いします。

主催：安全性評価研究会 <http://tanigaku.jp/wp/> 共催：大阪国際がんセンター

連絡先：03-5909-7028 (事務局 株)トライアングル)

